

第 29 回 つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会 議事概要

日 時：令和 4 年 11 月 15 日（火）10:00～14:50

場 所：筑波大学健康医科学イノベーション棟 8 階講堂（ハイブリッド開催）

出席者：荒川（委員長）、川上、鈴木、須藤、田口、土屋、橋本、町野、三澤、宮崎、森田、山田、和氣（事務局）阿部（祐）、辻、阿部（正）、石田、小野瀬、内田、谷中、安保、高岡
（出席者は全員守秘義務について確認）

【議事】：

1. シーズ評価委員会委員について

- 「つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会の組織及び運営に関する細則（平成 29 年 3 月 30 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 2 号）」第 3 条第 1 項第 2 号の規定に基づく委員として、小柳委員、陳委員、鶴嶋委員、野口委員が退任し、坂田麻実子氏、須藤勝美氏、田口哲志氏、町野毅氏が新委員になったこと及び和氣委員の所属変更が報告された。

2. 令和 4 年度橋渡し研究プログラム公募における preF、シーズF、シーズBのAMED 審査結果等

- 令和 4 年度公募において、筑波大学拠点（橋渡し研究支援機関）から 12 件（preF：6 件、シーズB：5 件、シーズC：1 件）応募し、preF が 3 件（拠点外 1 件）、シーズC が 1 件 採択された旨が報告された。

3. 令和 5 年度橋渡し研究プログラム拠点公募とシーズ支援研究費公募結果

- 筑波大学拠点としての令和 5 年度シーズ支援研究費の preF / シーズF / B / C に係る公募を令和 4 年 8 月 22 日から開始し、10 月 5 日の申請書提出期限までの応募状況について以下のとおり報告された。
 - ・ 応募総数は 15 件（拠点内 8 件、拠点外 7 件）であったこと
 - ・ シーズ区分別の内訳は、preF が 11 件（拠点内 6 件、拠点外 5 件）、シーズF が 2 件（拠点内 1 件、拠点外 1 件）、シーズB が 2 件（拠点内 1 件、拠点外 1 件）、シーズC が 0 件であったこと
- 筑波大学拠点としての令和 5 年度シーズ支援研究費のシーズA（新規/継続）に係る公募も同時に開始し、11 月 9 日の申請書提出期限までの応募状況について以下のとおり報告された。
 - ・ 新規の応募総数は 27 件（拠点内 13 件（うち他拠点 1 件）、拠点外 14 件）であったこと
 - ・ 令和 4 年度の新規採択シーズのうち、令和 5 年度の支援継続を希望するものは 15 件（拠点内 8 件、拠点外 7 件）であり、初年度の実績報告の提出があったこと

4. preF、シーズF、シーズBの申請シーズの評価・選定の進め方

- 「筑波大学拠点シーズB / シーズC / preF / シーズF 評価実施要領（案）」が説明され、了承された。同評価実施要領に基づいて、preF、シーズF 及びシーズB への応募シーズの評価及び選定の方法等について説明が行われた。

5. preF、シーズF、シーズBの評価

- 委員の利益相反の有無を確認のうえ、本委員会に先立って、応募があった11件のpreF（拠点外7件）、2件のシーズF（拠点外1件）、2件のシーズB（拠点外1件）を対象に、1シーズあたり4名の委員により行われた書面での予備評価の結果が報告された。
- 予備評価の結果に基づいて、preFについては、委員の評価点の平均が高かった7件についてヒアリングによる評価を行うこととされた。シーズF及びシーズBについては、それぞれ全件(2件)のヒアリングを行うこととされた。
- 引き続き、11件のヒアリングを行った。
- 大学病院臨床試験アライアンスにおける審査によって、筑波大学に対する採択推薦シーズとして、4件のpreF、1件のシーズBが選定されたことが報告された。
- ヒアリングの結果及び大学病院臨床試験アライアンスでの選定結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった7件のpreF（拠点外5件、うちアライアンス経由3件）、2件のシーズF（拠点外1件）、3件のシーズB（拠点外2件、うちアライアンス経由1件）の計12件についてAMED申請に向けて支援することとした。

以上